

校長室の窓'17



うれしかったことベスト3

～1学期終業式講話より～



昨日、梅雨明け宣言がありました。いよいよ本格的な夏が始まります。今日で1学期は終了します。毎日とても暑い日が続いています。そして、突然大雨が降って、日本の各地で大変なことになっています。九州では、行方不明になる人がいたり、家が流されて避難所暮らしをしている人がいらっしやるそうです。みなさんにできることはあまりありませんが、せめて心の中で応援してくださいね。

さて、1学期の正則小で私がうれしかったことベスト3を発表します。

第3位は、みなさんが一生懸命いろいろなことに取り組んでくれたことです。みなさんの学習ぶりを見せていただく機会がたくさんありました。真剣に話を聞き、しっかりと話し合い、立派に発表したことに感動しました。掃除の時間に校内を歩いていても、誰ひとりとして遊んでいる子はいませんでした。陸上の練習も金管の練習も、それぞれの子がめあてをもってしっかりと取り組みました。そんながんばっているみなさんの表情を見ると、私もがんばらなきゃという勇気をいただきました。ありがとうございました。

第2位は、あいさつや返事の声がよく聞こえることです。朝、横断歩道に立っていると、元気いっばいの声で「おはようございます」といえる子がずいぶん多くなりました。班長は立ちなさい。自分の班の子があいさつをしているなと思う子は手を挙げてください。ありがとう。では、渡り終わったときに、車の人にちゃんとあいさつしている班長は手を挙げてください。みなさんのおかげで、運転手さんはこの次もまた止まってやろうと思っていることでしょう。私も、運転しているのでその気持ちがよく分かります。

第1位は、命に関わるような事故や病気がなかったことです。校歌にあるように、「正則の子はみな元気」でした。でも、ひやりとしたことはたくさんありました。自転車で飛び出して、車とぶつかった子もいました。一步間違えばどうなっていたか分かりません。これから夏休みになります。遊びや習い事で自転車を使う機会が増えることでしょう。くれぐれも、交通事故や水の事故には気をつけましょう。自分の命はまず自分で守るのです。

4月からおよそ4か月たちました。1年生は1年生らしくなりました。もう、幼稚園や保育園の園児ではありません。2年生はひとつ上のお兄さんお姉さんとして、2年生らしくなりました。3、4年生は、中学年として、たくさんのことができるようになりました。5年生は、高学年として、自分たちで考えて行動できるようになりました。そして、6年生は正則のリーダーとして学校を引っ張ることができるようになりました。それぞれ、2学期に大きく成長できる土台ができました。どうか、充実した夏休みを過ごし、さらに大きくなって、9月にまた元気な顔を見せてください。以上で話を終わります。

